

## 日経平均 VI 先物指数の水準調整について

日本経済新聞社は、2023年1月23日に日経平均 VI 先物指数の水準調整を実施します。前営業日である1月20日の指数値を100倍にしてから1月23日の指数を算出することで、指数値の水準を2桁引き上げます。結果として、1月23日の水準は1月20日の約100倍になります。

より具体的には、1月23日の指数値の算出を行う際に、以下の算式（算出要領「3：指数の計算（2）算式①通常日の算式」を参照）において「指数値<sub>t-1</sub>」（前日指数値）を100倍して算出します。

$$\text{指数値}_t = \text{指数値}_{t-1} \times \frac{F_{1,t} \times W_{1,t} + F_{2,t} \times W_{2,t}}{F_{1,t-1} \times W_{1,t-1} + F_{2,t-1} \times W_{2,t-1}}$$

$W_{i,t}$ ：時点  $t$  における第  $i$  限月の限月ウェイト

$F_{i,t}$ ：時点  $t$  における第  $i$  限月の先物価格

日経平均 VI 先物指数の算出では、期近限月より期先限月の値段が高い状況で期先限月への乗り換え（ロール）を行うことが多く、その過程で指数値の水準が下がりやすい性質を持っています。このため2012年2月27日の値を100,000として算出を開始しましたが、昨日時点で64.93まで低下しています。今後も同指数の指数値は減少を続けることが想定されるため、指数値の水準調整（引き上げ）を行います。なお、2023年1月24日以降は、通常通り、前日の指数値をそのまま用いて当日の指数値を算出いたします。